



学校だより

日吉津村立日吉津小学校
日吉津村日吉津872番地12
0859-27-0230
令和3年2月4日発行

体験することから

校長 矢倉 美和子

「養護の先生はおられませんか。」と心配そうに1年生がやって来ました。心当たりはないのに足が痛いそうです。その説明はとても上手です。ピンとききました。そういえばこの頃縄跳びをすごく頑張っていて、たくさん飛べるようになっていました。だから少し膝が痛くなったり、筋肉痛になったりしたのかもしれませんが。自分の体を通して気づいた発見でした。本物に触れて自分の体で確かめていく「体験」は子供の成長にとってとても大切です。経験しながらどうすればいいのかやり方を覚えたり、見通しを持ったりします。「これくらい運動をするとどうやら体が痛くなるようだ。じゃあつぎは・・・。」自分の体で学んでいきます。

学習も頭や体を使った体験です。だから「振り返り」が大切です。何がわかって、何がわからないのか、どこまでわかったのか、やってみて考えてみて、自分で気づくことができます。「わかった」とは「説明できること」。感想だった振り返りが、自分のことがわかる、気づく振り返りに変わって行くことをめざして頑張っています。

あつという間の2月、総まとめの時期です。次の学年におかうためにしっかり振り返り、次のアクションを子供達と一緒に起こしていきたいと思います。



ふうせんバレーから学ぶ

22日、6年生はふうせんバレーボール協会の方を講師に招き、体験をしました。「みんなでできる競技、誰もが主役になれるルール」の意味を考えました。車椅子に乗る人、視野が狭くなるマスクなどをつける人と一緒にチームを組みます。

みんながゲームに参加するためには、声かけが必要になります。講師の先生から「ゲームの初めから、みんなが声かけできる学校は、なかなかありません。」とほめていただきました。

6年生の感想より

「風船バレーを通して障がいと共に生きる大変さを知ったとき、野上さんが風船バレーを広めようとした理由がわかりました。ともにいる私たちが、障がいがある方をつらくさせるのか、楽にするのかを決める1人1人だと考えたいと思います。障がいと向き合って自分がどうすればいいのかを考えるきっかけになりました。」



プログラミング教育出前授業



パソコンクラブでは、プログラミングの専門家をお招きしてレゴ車を動かすプログラミングを体験しました。簡単な課題から車を U ターンさせるチャレンジ課題へと進んでいきました。初めて経験する人が多い中、チームで協力したり、互いのチームの成功例を情報交換したりしながら課題解決をしていきました。

「みんなで力を合わせたことが楽しかったです。」

「最初は難しかったけど、何度もするうちにできるようになりました。今度するときは、もっと、難しいことにも挑戦したいです。」

と多くの感想を發表しました。



引き継ぎのとき



2月になりました。日吉津小の中では、新しい学年へバトンを渡す準備が始まっています。

4年生は、委員会活動を調べています。2月5日のスキー教室の日、5、6年生がいない日吉津小を守るためです。6年生に委員会の仕事をインタビューすると、仕事の手順やり方を指導したりしました。この活動のあと、4年生の中には、5、6年生の委員会に参加して見学する人もいました。



クラブ活動見学の3年生

3年生はクラブ活動を見学しました。どんなクラブがあり、どんな活動をしているか見学しました。

日吉津小には、スポーツ、卓球、工作、実験、クッキング手芸、ヨガ、パソコン、マジック、ボードゲームと9つのクラブがあります。

4年生になりクラブ活動するのが待ち遠しいです



2月の行事予定



2	火	薬物乱用防止教室(6年)3校時 委員会
3	水	ICT 支援員来校
4	木	全校朝会
5	金	朝の読み語り(やまびこ) 入学予定児体験入学 10:30~12:00 5,6年スキー教室
6	土	村人権同和教育研修会(13:30~15:00)
8	月	教育相談 SC 猪口かおり先生
9	火	6年葉山美紀子さん命の教育 ウイルスステひえづ 13:40~14:40
10	水	ICT 支援員来校
11	木	建国記念日
12	金	朝の読み語り(やまびこ) 漢字検定 15:40~
15	月	民俗資料館見学(3年2組)5校時
16	火	英語村(4年) クラブ
17	水	がんばり週間スタート 民俗資料館見学(3年1組)5校時 ICT 支援員来校
18	木	お話の森(ひなたぼっこ) 入学説明会 13:30
19	金	朝の読み語り(やまびこ)
23	火	天皇誕生日
24	水	月例テスト ICT 支援員来校
25	木	お話の森(ひなたぼっこ)
26	金	朝の読み語り(ひなたぼっこ)

3月の主な行事予定

3(水)4(木)学年末懇談
8(月)教育相談 SC 来校日
18(木)卒業式
22(月)給食最終日
23(火)弁当
24(水)修了式

学校評価アンケートの結果より～ご協力ありがとうございました～

12月に実施しました第2回目のアンケートでは、たくさんのご家庭から協力をいただき、ありがとうございました。1学期と比較しながら集計結果をお知らせします。あわせて12月に実施した児童アンケートの集計結果も併せてお示ししております。教育活動がどれだけ有効に行われたかを検証し、学校全体の教育力を高めたいと考えています。

①保護者アンケート※回収率は約71%でした。【※結果の%は肯定的な回答【あてはまる、おおむねあてはまる】の割合】

		A=あてはまる B=おおむねあてはまる C=どちらかというにあてはまらない D=あてはまらない E=わからない	2学期 単位：%	1学期 単位：%
学校	①	学校の教育方針が保護者に分かりやすく説明されている。	91	88
	②	学校生活全体において児童は友だちのよさやがんばりを認めようとして生活している。	89	91
	③	保護者（地域）からの問い合わせや来校者に対し、教職員は誠実な対応をしている。	94	93
	④	学校内外の施設設備は整備が行き届いており、児童が快適に安全に学校生活を送ることができる環境になっている。	96	98
授業	①	子どもは友だちと学び合いながら意欲的に学んでいる。	90	87
	②	教師は教材や学習を工夫し、児童の学習意欲を高める授業を工夫している。	90	93
	③	授業では、友だちの考えをしっかりと聴き合うことが大切にされている。	87	88
社会性	①	子どもは集団生活に必要なきまりや約束を守っている。	90	91
	②	運動会やきらきらフェスティバルなど学校行事や児童会活動、クラブ活動では、教職員と子ども達が信頼関係のもとに生き生きと活動している。	96	74
	③	子どもは学校以外から招かれた講師や地域の方から、体験の幅を深めたり学んだりしている。	99	86
連携	①	学校は、地域や家庭に開かれており、いつでも行きやすいと感じられる。	87	89
	②	学校は、地域の人材や施設等を教育活動に活かしている。	94	90
	③	学校は、ホームページや学校だより等で情報発信に努めている。	85	90
教育活動	①	自分たちの課題やよくしたいことを自分たちで決めたり、話し合ったりする集団づくりの取組が進んでいる。	87	86
	②	タブレットを使ったり、外国支援助手との授業を充実させたりなど、新しい教育を取り入れている。	89	79
	③	図書館教育の充実が感じられる。	94	94
	④	学校は、行事の向かう目標や卒業までに100M完泳など自分の目標を持って取り組もうと努めている。	94	95
	⑤	子供たちは金管クラブ、スポーツ少年団、作品応募や村内外のイベントへの参加など積極的に取り組もうとしている。	89	92
その他	①	学校は、ひえぶスタダードを活用し、子どもの学習習慣の定着を図る取組をしている。	89	89
	②	学校は、家庭学習ががんばり週間など家庭と相談をしながら生活の課題や学力の定着に努めている。	90	93

【考察】

○「学校」②では、友達のよさを認めることが低くなっています。学校生活の中で、教職員が友だちのよさをほめる姿勢を見せて、児童の手本となるよう心がけます。

○「授業」②が、低くなりました。授業の導入など児童の学習意欲を高める工夫や、一人一人の学びを大切に「難しいところ」「間違えやすいところ」が解消できるように研修を行い授業の改善に努力していきます。ICT機器の活用を習得し効果的な活用をめざします。

自由記述の回答について

- ・がんばり週間で使用するカードの項目が、低学年が記入するには多い。書き方や目標の定め方（実現可能目標）を指導してもらいたいです。
 - ➡記入の仕方の改善、クラス全体の指導のあと、内容を確認する時間を確保します。
- ・低学年の子どもが18時過ぎごろの暗い中、自転車にのっていました。危険です。
 - ➡全校朝会等で指導を行っていきます。地域の中で言葉かけや学校に連絡いただくと助かります。
- ・コロナ対策として、給食着は当番以外も全員着用、自分専用のものを着用するのはどうか。
 - ➡費用のこともありますので、今後、PTAとともに協議していきます。
- ・コロナ禍の中、なかなか学校へいけず直接様子を見る機会がへりましたが、通信等、ひえぶチャンネル等でお知らせしていただきありがたかったです。今年、子供会の役員で、子ども達と活動しましたが、よく話を聞いてくれますし、小さい子にも優しく接したり進んで行動してくれたりしています。
- ・新しい教育の形を作り上げるといふ難しい状況の中で、試行錯誤しながら教育活動をやっておられます。以前のように学校の様子を保護者に伝えられない状況ですが、よりよい形になるよう私たちもまっています。

本校では、自由記述については記名でお願いしています。内容によって回答については個人にお答えさせていただいていることや全体にお示ししていることもあります。お忙しい中、また今年は学校教育活動が十分に行われない中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。引き続きよろしく申し上げます。

②児童アンケート

生活

※結果の%は肯定的な回答【そう思う・ややそう思う】の割合

	2学期 単位：%	1学期 単位：%
①学校は楽しい。	82	81
②友だちと仲良くしている。	94	93
③学校では時間を守って生活している。	93	88
④進んであいさつをしている。	93	90
⑤だまっていっしょうけんめいそうじをしている。	83	86
⑥学校ではいつも名札をつけている。	86	93
⑦いつも夜10時までに寝ている。	81	83
⑧いつも朝7時までに起きている。	92	93
⑨いつも朝ご飯を食べている。	97	93
⑩家族でTVやゲームのルールを決めて守っている。	86	84
⑪ゲームやタブレットなどの使い方や使用時間のルールを決めて守っている。	81	84

学習

①楽しく学習できている。	82	79
②友だちに伝わるように発表している。	78	80
③友だちの発表をよくきいている。	92	94
④「わからないこと」は進んで友だちにきくようにしている。	82	82
⑤友だちと勉強するとわかりやすい。	86	89
⑥音読や宿題などは必ずしている。	94	93
⑦家庭学習では学年の目標時間をこえるようにがんばっている。	84	86
⑧国語の勉強が好きだ。	71	74
⑨算数の勉強が好きだ。	71	75

学校

①先生は話を聞いてくれる。	93	94
②こまったり、なやんだりしたときに相談する先生がいる。	80	81
③学校でのできごとを家の人によく話す。	79	78
④活動の目標をもって、それに向かってがんばろうとしている。	84	89

【考察】

- 名札の着用については「家に忘れた」「引き出しに入れてます」の声が聞かれます。登下校の事故のとき名札があって早期に家庭連絡ができた事例もあります。名札をつける目的について、改めて学校で指導していきます。また、日吉津スタンダードを活用して、学校生活の基本について見直します。
- 学習では、「友だちに伝わるように発表している」「国語・算数の勉強が好きだ」に課題がみられます。学校生活の中で、自分から発表する場を設定して、経験をつむことで自信をつけることができるように指導していきます。教科について、どこが苦手で、どこが好きなのかをアンケートをとることで、分析していき、学習指導の工夫に努めます。
- メディアの使用時間に課題が見られました。2学期にICT支援員とのメディアルールの学習でも、5時間以上使用している児童が多い学年もありました。長時間の使用は、高学年まで続くというデータもみられます。老眼や難聴傾向も若年で表れているようです。ご家庭と連携して指導を進めます。